

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	水道事業経営戦略策定事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	経営業務課				
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開	主管課長	秋谷 孝				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	水道事業経営	意図	経営戦略の策定により、事業の優先度を確認しながら投資と経営のバランスをはかり、自立可能な水道事業経営を目指す。
事業内容	投資計画と財源計画を整合させ、自立可能な水道事業経営を行うための中長期的な計画として経営戦略を策定する。また、策定した計画値と実績値の乖離を毎年分析し、次年度以降の計画に反映していく。			
事業開始から現在までの状況変化	経営戦略を策定することにより、より安定した水道事業経営を行うことができ、市民サービスの向上とより安心・安全な水道水の供給を行う。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	水道事業の予算や、発注の見直しなどの考え方の基礎となっている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度に水道事業経営戦略を策定した。				
事務事業の総コスト(a=b+c)	15,228,000	749,520	557,280	また、平成29年度は平成28年度決算を基に、策定した経営戦略の計画値と実績値の乖離を分析し、4年毎の計画見直しに反映していく。				
事業費(b)(円)	15,228,000	749,520	557,280					
うち一般財源	15,228,000	749,520	557,280					
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)								
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	流山市水道事業経営戦略進捗状況確認業務委託により、進捗状況を確認する。	③取組の課題	引き続きPDCAサイクルにより経営戦略を継続して実施していく。
②今年度(H29)に実施した取組	平成27年度に策定した経営戦略の計画値と実績値の乖離を分析した。	④今後(H30以降)の改善計画	引き続き流山市水道事業経営戦略進捗状況確認業務委託により、進捗状況を確認し、水道事業経営に反映していく。